

再生可能エネルギーの導入加速に向けた 農林水産省の取組について

(「政府のエネルギー規制・制度改革アクションプラン」のフォローアップ)

重点番号16: 農山漁村における導入促進に係る 農林地等の利用調整の円滑化

検討状況

- ◆ 次期通常国会への法案の提出を目指し、改革の方向性に沿って、制度の体系や特例措置の内容等の詳細について省内で検討するとともに、関係府省との調整も開始。
- ◆ 具体的には、農山漁村において、農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギーの促進に関する国の基本的な方針等に沿って再生可能エネルギー発電設備を導入する場合において、
 - ① 市町村が農林地の集団的な所有権移転等を促進するための計画を定める(民法の特例)とともに、
 - ② 農地法、森林法、漁港漁場整備法等の手續を簡素化する(ワンストップ化)等の措置を講じるための法案を検討しているところ。

スケジュール等

- ◆ 引き続き省内での検討と関係府省との調整を実施し、23年度中に結論を得る。

重点番号17: 国有林野における許可要件・ 基準の見直し

検討状況

- ◆ 改革の方向性に沿って、再生可能エネルギー発電事業及び再生可能エネルギー発電附属のエネルギー供給事業の用に国有林野を使用させる場合について明確化するよう、経済産業省その他の関係行政機関の協力を得ながら、財務省及び農林水産省により検討中。

スケジュール等

- ◆ 経済産業省その他の関係行政機関の協力を得ながら、財務省及び農林水産省による検討を継続し、23年度中に結論を出す。

【その他】

- アクションプランの他の実施・検討項目についても、着実に進めているところ。
- このほか、平成24年度予算概算要求において、農林漁業者が主導して再生可能エネルギーを活用するモデルの構築などを行うための予算を要求中。